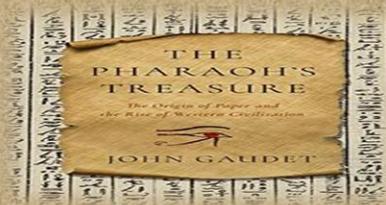
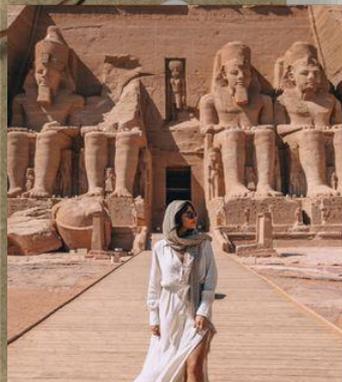




エジプトにおける 観光開発プログラムと投資機会

エマン・モハメッド
キュレーター（大エジプト博物館）



エジプトの位置

エジプトの位置：

エジプトは海外市場に近いといった地理的条件もあり、観光産業は重要な収入源である。

地理・人口統計情報：

エジプトは約1,002,000 km²の国土面積を有し、現在人口の90%以上がナイル川沿いに集中しており、残りの10%は砂漠地帯に点在して暮らしている。

エジプトでは、居住可能な土地を現在の5.5%から2030年には25%へ拡大することにより、ナイル川から離れた土地への人口移動を計画している。



Egypt



我が国における観光産業の状況

我が国における観光産業の状況

エジプトビジョン 2030

観光産業と新型コロナウイルス感染症（Covid-19）

21世紀初めの観光開発戦略では、2020年までに訪エジプト外客数を2900万人に増加、滞在日数を7日から9日に延ばし、総宿泊数を増やし、ホテル客室の収容能力を高めることを目標としていた。しかし、2020年のパンデミック（新型コロナウイルス感染症拡大の危機）により、エジプトの観光産業は以下のような負の影響を受けた。

- 1) 観光収入の損失は、約77億ドル
- 2) 2019/2020年に達成されると予想された観光収入の43%に相当する損失

その理由は：

- エジプトおよび他の多くの国々でのフライトの停止
- 新規観光客からの予約の不調
- エジプトおよび他の多くの国々で夜間外出禁止令を発表

S.N	指標	現在の値	2020年 目標	2030年 目標
戦略的結果				
1	観光・旅行競争力	85	70	60
結果				
2	10万人あたりの公共図書館の数の割合における地理的な格差	0.35	0.2	0.1
3	10万人あたりの文化施設の数の割合における地理的な格差	1.95	1.0	0.5
4	博物館・遺産への海外観光客数（訪問者数）	1.8	2.3	3.3
5	博物館・遺産への国民観光客数（訪問者数）	7.5	9.45	12.7

出典: SDS document

2030年までの文化プログラム

1. 文化産業・遺産保護に関連した法令の見直し
2. 文化制度の開発と再構築
3. 社会における歴史・文化の気づきを促進するための一連のプログラムの採択
4. エジプトにおける文化的素材やアクティビティの統合的データベースを確立
5. 文化サービスのインフラの効率を高め、その範囲を広げる
6. 遺産手工芸品の保護と開発
7. 文化産業への支援とエンパワーメント
8. 遺産の保護と維持



現在直面している危機が終息するまでのエジプト観光業の全ステークホルダーによる解決策とは：

<p>あらゆる年齢層の旅行者を対象とした休暇割引を提供することで国民およびエジプト在住外国人の国内旅行を充実させる。</p>	<p>税金、手数料、控除の延期に関する措置を迅速に実施する。</p>	<p>全ての観光地において障害者の移動に必要なあらゆる設備を提供する。</p>
<p>雇用を継続する企業に財政的インセンティブを提供することで観光産業の労働力を維持する。</p>	<p>観光地の開発、観光地や観光施設の管理の改善、観光産業に従事する人材の能力向上を図る。</p>	<p>観光アクティビティや商品を多様化し、新たにカスタマイズされた観光プログラムを企画する。例えば、アドベンチャー、ダイビング、食、医療観光等、あらゆる興味と年齢層に対応する。</p>
<p>歴史上エジプトと関連の深い国々から観光客を誘致する。例えば、ド・レセップス像を移設することでイスマイリア博物館にフランスからの観光客を引き付ける。</p>	<p>全ての観光アクティビティや観光施設における安全・衛生基準の適用に重点を置くなど、観光商品の品質に対する国内外の消費者の信頼を回復させる。</p>	<p>インターネットを通じた支払いで観光地を訪問できる電子プラットフォームを確立させたバーチャル観光・娯楽施設といった革新的手法で、エジプトの観光地の促進を行う。</p>

持続可能な観光マネジメント

地球規模での環境の変化により国際観光産業は、以前にもまして不確実な未来に直面している。
持続可能な観光を進める目的は、観光地が得る収益を増大させ、観光がもたらす負の影響を低減させることである。
エジプトでは、次のような手段でこれを実現する。

- 1-観光アクティビティを開発、管理する際に自然環境・野生生物・天然資源を保護・保全する（エジプト航空は、「環境に優しい」製品とサービスによる運航を初めて実現し、将来フライト中の「使い捨て」プラスチックの使用を90%削減し環境に優しい製品に置き換えることを目標としている）
- 2-遺産と文化を大切にし、保全につながるような本物の観光体験を提供する（アスワンとカラモスでは地元の店舗から土産物を購入する）
- 3-雇用や収入を得る機会を通じ、地域社会に社会経済的利益を創出する（オールド・カイロの地元レストラン支援）

天然資源



観光の要素

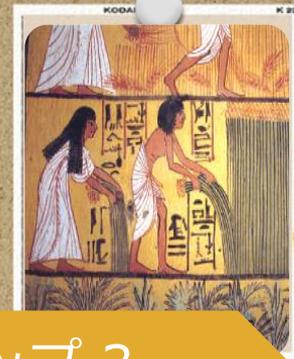


交通とインフラ 観光施設とサービス

アクションプランの進捗

アクションプランの進捗

「カラモス開発プロジェクト」のアクションプラン



ステップ 1

外国人観光客のニーズに合った新商品の開発や品質向上、新規市場へ輸出するため、戦略を立案する。

ステップ 2

印刷物・カタログ・パンフレット・視聴覚素材の作成、公式ウェブサイトへ最新情報の掲載、主要市場での新聞・テレビコマーシャルによるエジプトの広報など、プロモーションツールの準備を行う。

ステップ 3

主要な観光客産出市場における国際旅行見本市におけるプレゼンスを維持する。(例えば、ITBベルリン、WTMロンドン、JATA旅博東京など)



航空券や高等教育証明書をパピルスに印刷するよう働きかける。カイロ市にあるエジプト・ブリティッシュ大学より、卒業証明書をパピルスに印刷してほしいとの依頼があった。

農村部在住の若年層の雇用機会を増やす。地域の文化遺産保全という視点をもちながら地域住民が一定水準の生活を送れるようにする。

古代エジプト博物館と新アレクサンドリア図書館にある写本博物館が「古代エジプト・パピルスの秘密を解き明かす、その意味から重要性まで」と題した会議を開催した。

観光省が無形文化遺産の緊急保護リストへの登録を試みる。

ハンディクラフトセンターの設立は、観光開発局との連携により、デザイン開発や市場調査のための機会を提供する有効な手段である。

地方開発大臣が観光考古省、芸術アカデミーと共同でパピルス生産者組合財団を設立し、農村部にあるパピルス生産工房の現地視察を通じて、栽培、生産、印刷の各段階を記録している。

パピルスの作り方に関する子供向けのワークショップと博物館内の展示、過去に開催された会議のサイドイベントとしてドキュメンタリーの発表を行う。